2025 年度　杏林製薬医学助成プログラム報告書

１．行った事業

名　称：感染症ベーシック・スクール 2025

担当者：（東京会場）松本　哲哉（国際医療福祉大学医学部感染症学講座・教授）

（大阪会場）掛屋　　弘（大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学・教授）

目　的：本事業では、感染症に関する体系的な教育機会を与え、将来の感染症専門医取得を目指す医師を増やすために以下の目的をもって２か所で開催した。講師は異なるが、プログラムは同一である。

①若手医師に対して最新の感染症診療や研究に関して情報提供を行い、より深い知識の習得を促進する。

②専門領域の選択に悩んでいる医師に感染症の分野への関心を高める。

１）感染症ベーシック。スクール（東京会場）

日　時：2026 年 1 月 11 日（日）

会　場：大手町プレイスホール＆カンファレンス

参加数：66 名

２）感染症ベーシック・スクール（大阪会場）

日　時：2026 年 1 月 25 日（日）

会　場：ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター

参加数：61 名

３）プログラム

資料１，２参照

２．成果

終了後、参加者にアンケートを行った。

問 1 現在の所属をお選びください。

	東京会場	大阪会場
大学病院	23	20
地域中核病院	25	23
一般病院	14	7
クリニック	2	0
その他	1（保健所）	1（療養所)、(学生）

問 2 医師としての経験年数をお選びください。

	東京会場	大阪会場
初期研修医（1-2 年目）	15	17
後期研修医（3-5 年目）	20	8
6-10 年目	9	10
11 年目以上	19	15
その他	1（検査技師）	6

問 3 現在の専門分野をお答えください。(複数回答可)

	東京会場	大阪会場
感染症科	11	9
総合内科	11	10
救急科	9	2
集中治療科	7	1
外科系	0	4
小児科	8	3
その他	26 呼吸器内科　8､血液内科　4、腫瘍内科　2､循環器内科　2、総合診療科、消化器内科、リハビリテーション､麻酔科､病理、産業医、グローバルヘルス、公衆衛生、社会医学 初期研修医	21 呼吸器内科　7、膠原病内科　2、麻酔科　2、リハビリテーション科　1, 循環器内科　1、消化器内科　1､神経内科　1、精神科　1，脳神経内科　1

まだ専門を決めていない	9	2

問 4 日常業務における感染症診療との関わり方をお選びください。

	東京会場	大阪会場
ほとんど感染症患者を診ることはない	1	1
たまに感染症患者を診療する	17	17
感染症の患者は多く診ている	39	39
他の医師から感染症診療の相談も受けている	12	12
院内では感染症診療の責任的立場である	6	6

【本日の講義内容について】

問 4 本日の講義の中で、最も興味深かった内容を 3 つまでお選びください。

	東京会場	大阪会場
講演 1：感染症診断の臨床アプローチ	20	25
講演 2：薬剤耐性菌の現状と課題	22	27
講演 3：抗菌薬の分類と臨床薬理学	36	9
講演 4：抗菌薬適正使用プログラムの実際	9	18
講演 5：院内感染対策の実践	7	4
講演 6：新興・再興感染症への備え	14	10
ケーススタディ 1：微生物検査の基本と解釈	34	27
ケーススタディ 2：臓器別感染症の治療戦略	19	14
ケーススタディ 3：アウトブレイク対応シミュレーション	11	12
総合討論：感染症専門医のめざし方	4	7

問 5 各講師の「なぜ感染症医を目指したのか」というお話は参考になりましたか。

	東京会場	大阪会場
非常に参考になった	19	25
参考になった	37	23
どちらともいえない	4	4
あまり参考にならなかった	2	0
参考にならなかった	0	0

【感染症への興味・関心について】

問 7 本セミナー参加前の感染症分野への興味の程度をお答えください。

	東京会場	大阪会場

非常に興味があった	26	22
興味があった	37	31
どちらともいえない	2	3
あまり興味がなかった	0	0
興味がなかった	0	0

問 8 本セミナー参加後の感染症分野への興味の程度をお答えください。

	東京会場	大阪会場
非常に興味が高まった	26	25
興味が高まった	33	25
変わらない	6	4
やや低下した	0	0
低下した	0	0

問 9 感染症分野のどの領域に特に興味がありますか。（複数回答可）

	東京会場	大阪会場
市中感染症の診断・治療	50	33
院内感染症の診断・治療	46	33
抗菌薬適正使用（Antimicrobial Stewardship）	37	28
感染制御・院内感染対策	16	10
微生物検査・診断	25	24
新興・再興感染症対策	16	9
薬剤耐性菌対策	24	18
免疫不全患者の感染症	25	17
熱帯医学・渡航医学	13	9
HIV を含む性感染症	9	12
小児感染症	14	5
ワクチン	12	8
その他	2 敗血症、社会との関わり。抗菌薬の100％国産化への取り組みなど	2 NTM、自然宿主と細菌との共生

【感染症専門医取得について】

問 10 本セミナー参加前、感染症専門医の取得を考えていましたか。

	東京会場	大阪会場
強く考えていた	16	12
考えていた	9	9
少し考えていた	12	14
あまり考えていなかった	14	13
全く考えていなかった	13	7

問 11 本セミナー参加後、感染症専門医の取得への関心は変化しましたか。

	東京会場	大阪会場
非常に高まった（ぜひ取得したい）	19	16
高まった（前向きに検討したい）	26	24
変わらない	20	15
やや低下した	0	0
低下した	0	0

問 12 もし感染症専門医を目指さない、または迷っているとすれば、その理由は何ですか。（複数回答可）

	東京会場	大阪会場
研修施設が限られている	19	17
指導医が身近にいない	17	9
キャリアパスが不明確	10	11
他の専門分野により興味がある	13	13
処遇・待遇面での不安	3	2
ワークライフバランスへの懸念	3	5
学会発表や論文作成の負担	8	6
専門医取得後のキャリアの選択肢が限られる	1	4
感染症以外も幅広く診療したい	11	11
その他	8 年齢的に。現在のクリニック診療を中断することができない。他のサブスペとの並行取得ができず	1 感染症アウトブレイク対応における過剰負担。病院によっては時間外業務過剰

	時間がかかる。どんな研究が可能なのか、どんなタイミングで研究するといいのかなど。取得の為に改めて研修し直す時間･手間の問題。医局人事で勉強に出るタイミングがない	

【全体評価・今後について】

問 13 本セミナー全体の満足度をお答えください。

	東京会場	大阪会場
非常に満足	38	39
満足	24	17
どちらともいえない	2	0
やや不満	0	0
不満	1	0

問 14 今後、さらに学びたい内容や、開催を希望するセミナーのテーマがあればお書きください。（自由記述）

- AM 市内、PM 院内、等わけては助かる
- HIV の基本的な治療の考え方
- アトバスト編もあればぜひ受講したい。よりディスカッションの時間がある、エキスパートの先生方に聴くなどできたら尚良いと思った。
- 開催意図によります。
- 学生レベルのよりベーシックな内容から学び直したいです
- 感染症と免疫、生物学的製剤との関連、今回のセミナーのように各論よりは総論をメインに学びたい
- 救急、小児など、テーマをしぼったセミナーを受けたい。
- 救急・集中治療領域の感染症治療について
- 國島先生、谷口先生、吉澤先生の講義をまた聴講したいです。同じ内容でも結構です
- 検査適正使用の講義があれば興味があります。
- 抗菌薬の分類・特徴に特化したセミナーがあれば参加したいです。
- 抗菌薬を正しく使える医師になりたいので、抗菌薬に関する内容を学び続けていきたいです。国内・国外留学の話も興味があります。

- このような若手〜中堅に向けた勉強会を今後も年に数回開催して欲しいです。
- 小児感染症での本日のような内容をぜひ聞きたいです。小児感染症学会に行っても、このところあまり参考になるものがありません。今日のような内容はかけだしの小児科医にも重要です。ぜひ、御一考下さい。ウイルス感染症に Spot をあてた話も聞きたい
- 将来、小児科に進もうと考えているため、小児における抗生剤使用の必要性の有無、抗生剤の選択、投与期間等に関してのセミナーがあれば是非参加させていただきたいと思った。
- "症例提示とそれに対するエキスパート達の見解、抗生剤選択などの討論。
- 先生方の後悔した症例。"
- 真菌の話も聞きたいです。
- 新興感染症について、熱帯医学
- 全体を通して興味深い内容でした。総論的な内容が多かったので、症例の提示がもっとあるとありがたいです。
- ベーシックスクールというにはやや専門性が高いと感じました。研修医+α レベルの抗菌薬の使い分けなどを改めて整理できたらよかったです。
- 毎年参加したいと思いました。（講師陣が良かったので）
- "ワクチン（社会的 problem と取り組みなども含めて）
- 真菌の位置づけと対応、現状の problem
- 最近のトピック、ウイルスを使ったがん治療について。"

問 15 その他、本セミナーに関するご意見や学会への要望などがあればご自由にお書きください。（自由記述）

（東京会場）

- 30 分の時間は集中でき、様々な講師の先生のお話を聞くことができた。
- ありがとうございました。
- "各々の先生方がどのような経緯で感染症の道に進んだかがすごく面白かった。縁とか人のつながりの面白さを感じた。もっと色々な先生のキャリアも是非聞いてみたいと思う。
- 基礎寄りの先生方と（青木先生以降の）臨床寄りの先生方と一堂になってのセミナーは個人的に始めてみた。双方のすこし異なった視点、視座があって大変興味深いと思った。是非、同様のセミナーを続けてほしい。"
- 感染症医を主として行っている方だけでなく、感染症をサブスペシャリティとして診ている専門医方の方のお話も聞いてみたいです。
- 感染症学会において、共著が学会員でなくとも発表できるようにしてほしい。
- 感染症専門医の勉強のため、テキストの改訂・改版や試験過去問の公開をお願いしたい。専門医が少ない地域で医師をしていますが、そのような地域で学ぶ方法を知りたい。

- 救急×感染症ダブルボードを目指しているが、そのようなキャリアパスが分かる特集などがあると、イメージがわいてうれしいです
- 研修医 1 年目で参加することに不安がありましたが、大変面白く勉強になる 1 日を過ごせました。また、感染症研究の最新トピックを知ることができて、感染症により興味を持つことができました。感染症専門医への興味が高まったので今後も同じようなセミナーがあればまた参加したいです。Q&A を使ったケーススタディは実践的でとてもよかったです。
- 研修医でしたが臨床で明日から活かせる内容を含んだ講義を聞けてすごく実りのある時間となりました。今度はもう少し研修医向けのレベルの臨床知識や抗菌薬の使い方などの内容を中心に行っていただけると学びが多いと思うので、可能でしたら行っていただけると幸いです。本日は貴重なお時間を割いてくださり、ありがとうございました。
- 研修で小児科ローテート中に小児科の指導医の先生が本セミナーを紹介してくださいました。とても勉強になりました。ありがとうございました。セミナーを紹介してくださった先生にも感謝しております。4 月から呼吸器内科専攻医になるのですが、いずれ感染症専門医を目指していきたいです。
- 講義のスライドのデータを頂けるとありがたいなと思います。
- 抗真菌薬の使い分けについて、意外に系統立って学ぶ機会がないので、レクチャー頂けると嬉しいです。
- 実際の症例に基づいて原因菌の特定や、抗生剤の選択、抗生剤の変更の可否について考えることができ、非常に勉強になった。ただ、参加者のターゲットが広かったこともあり、初期研修医の私には難しい内容があったことも事実なので”学生向け””研修医向け””専攻医向け”など分かれていても良かったかなと思いました。
- 食事があまり食べられなかった。1 人 1 人に弁当を配る形にしてほしい。また、中々初対面の人との会話が難しい。自由に話せる場とグループで話す場があると、会話を始めやすい。（特に同世代の輪を作りたい）可能な範囲でよいので、共有（配布）できるスライド・資料があると復習に役立ちます。
- スライドをダウンロードできるようにして頂きたいです。
- セミナー開始前にスライドのデータ or レジメを参加者に共有していただけるとありがたいです。（話を聞きながらメモを取りやすいので）
- 専門医がいるが指導医でなく、施設でもない。何とか専門医をとれないでしょうか？ICD はとりました。
- "定期的にこのようなセミナーを開催していただきたいです。
- グループワークがあるとより参加者間、参加者講師間の交流ができるかと存じます。"
- とても勉強になりました。貴重なお時間を頂きありがとうございました。
- 昼食に弁当でも良いと思った。すべてのスライドでなくても良いから手元に資料があると良い。専門医試験の間口を広げてもらいたい。（レポートや試験のハードルがやや

高い、施設基準についても）

- 本会の開催意図がよくわからなかった。非感染症科医もいる（多い）ことを考えるとニッチな研究の話や AST/ICT の話だと少し退屈では？と思います。ケースは良いとして＋α で臓器別感染症のミニレクチャーがあっても良い（IDATEN のオンデマンドがあるので不要かもしれませんが）初期研修医、他科内科専攻医を感染症科に誘うのか、他科のまま院内感染対策、診療にもっと入ってもらいたいのか、参加者のニーズに沿ったものが良いと感じました。
- もう少し長めに時間をとれるとよかった。参加者と交流できる時間がもっと欲しい。可能なら各先生のスライドを復習のために配布してほしい。
- 若手の Dr で ICD のことは知っていても一歩踏み出せないでいる人に積極的に学会がアプローチしてどんどん感染症の専門医を増やしていくべきだと考える。私が研修医のころは ICD の仕組みがなかったので、開業してから存在を知っても手遅れでした。残念です。ICD の開業医向けの資格を作ってください。是非とってみたいです。これは次の新型感染症発生時に開業医の力を結集させるために大切な事と思います。保険点数に資格を持っていない人を優遇するような仕組みを作るより、とってくれる人が増えると思います。開業医向けの新しい ICD 資格を是非新しく作ってください。
- 若手の Dr の活躍をもっと見たい。

（大阪会場）

- 講演 1 のような発熱はあったが感染以外の原因も大きかったケース
- 感染症界隈で熱い（常識となっている）話題
- 私自身は神経内科であり、髄膜炎の症例を多く診療してきました。できれば髄膜炎や農園に関するセミナーがあると嬉しいです。
- 非常に学びの多い勉強会でした。抗生剤（よく使う）などの詳細も教えて頂けたらと思いました。
- 臓器移植後の免疫抑制患者の感染症
- 先生方が経験された面白いケーススタディをもっと知りたいです。（特に先生方の思考回路が垣間見れると大変勉強になります）
- 呼吸器非専門医、感染症非専門医でも最低限知っておくべきコモンディジーズへの対応（各臓器）
- 総合討論とても興味深かったです。大学の講義に印象だと菌そのものの特徴などを研究しているイメージ、臨床に出てからは感染対策や抗菌薬適正使用の介入をしているイメージが勝手についていましたが、内科的視点や生物学・公衆衛生的な視点などそれぞれの先生に様々な感染症との出会いがあったのだとしれてよかったです。
- 感染症科専門医に加えて、別の科の専門医を取得してご活躍している先生のお話（キャリア形成など）を聞いてみたい。
- 呼吸器感染症、NTM。寄生虫

- 手技が少ないため難しい思いますが、座学だけでなくはなく、少数グループでブースを作ってワークショップがあると面白いかなと思いました。臨床論、検査、フィールドワークを簡易的に体験できるシステム（？）クイズ大会等、参加型のセッションが楽しくて印象に残りました。
- グラム染色、PCR、LAMP など検査。個々の病院の AST の具体的な内容（毎日してますか？外来の症例もありますか？）。各先生の一週間のスケジュール
- HIV・AIDS 患者マネジメント。不明熱へのアプローチ。整形外科との横折的領域。
- 微生物検査について基本からより詳しく知りたいと思った。
- 現在、いまひとつ耐性機序（主に GNR）に関する 0～10 までの本はないように思われます。ずっと分厚くなるし時間もかかると思われますがそういう本や講演があればよいと思っています。
- 耐性機構について。環境整備ラウンドの実際について。AST 介入の実なり
- 輸入感染症事例
- Q&A などを用いた参加型のディスカッションが有用だと思います。
- 感染症には地域性があると思うので、各地の感染症など聞けたら面白そうだと感じました。
- 感染症内科医のキャリア過程や実際の業務内容について先生方の経験を交えて教えて頂きたいと思いました。特に印象に残っている症例を聞きたかったです。
- 新興・再興感染症へのアウトブレイク対応。災害対応時の感染対策。
- 参加させて頂いてありがとうございました。学生目線ではあまり具体的には感染症医の仕事を分かっていなかったので魅力とともに教えて頂けて本当に学びになりました。先生方の感染症医になられたきっかけも面白く、詳しくお聞きできて良かったです。

問 15 その他、本セミナーに関するご意見や学会への要望などがあればご自由にお書きください。（自由記述）

- 資料（スライドなど）があればよい
- 立食でなくて良いと思います。
- 大変勉強になりました。ほかの分野の方で当たり前に持っている知識を学べました。ありがとうございました。
- 本年春から急性期病院から長期療養型病院に移ります。同病院に移りに際して独りで感染症診療を行う必要があります。今後独りで感染症診療を行うに際して何か重要なのかを教えて頂けるようなセミナーがあると嬉しいです。前述にあります様に近くに研修施設がない場合でも専門医試験が受験できるような制度があると大変助かります。
- 一部スライドが貰えると嬉しいです。
- スライドを配布頂きたいです（復習させて頂けると嬉しいです）

- 学会以外で第一線の先生方のお話を拝聴でき、大変勉強になりました。是非また参加したしたいです。
- 各講師のスライドのハンドアウトが欲しい（出せる分だけでも）
- Edwardsiella 感染例 1.感染中、血糖変動管理困難で苦労したのではないか。2.初診当日に抗菌薬を開始すると思います。全く門外漢の私もセフトリアキソンを選ぶと思います。多分ペニシリンは選ばない「Edwardsiella に PC」を知ることは？？？「頸門脈感染に何を」が重要ではないかと思いました。理論⇔ケース⇔現実的。感染症治療の困難を思いました。
- 講演 4 で抗菌薬使用時に考えることについてお話しいただいたのが今まで混乱していた部分が、すっきり整理された感覚がありました。これから内科専攻医として学ぶ予定ですが、忙しい日常診療の中でも真っ当な流れでの感染症、内科的診療ができるよう精進したいと思います。重要な機会を頂きありがとうございました。
- 昼食で知らない出席者と自由に食事をするという状況が人見知りには辛かった
- 無料で学会員外にも開かれた勉強が新鮮でした。感染症専門医を増やしたいという熱意が伝わりました
- 様々なキャリアがあるのだということが、よくわかり参考となりました。
- 著名な先生方の経歴働き方価値観を一気に聞ける総合討論が刺さりました。専門医目指して励みます。
- 来年も是非開催して欲しい。普段お会いできない素敵な先生方の話を聞けて良かった。（有料でも参加したい内容でした）
- 大変勉強になりました。ありがとうございました。無料で参加してもいいのかと感じるくらい講師の熱量が高かったです。
- スマホを利用したインタラクティブに参加できたことがよかった。様々なテーマについて第一線で活躍されている先生方の話を聞くことができた。
- Case Discussion の枠では症例を少し減らして一つ一つにもう少し Discussion の時間があると良いと思いました。自分は研修医ですが様々な Background の先生の意見を聞いてみたいところです。
- ベーシック・アドバンス（他科で感染症に関係ない場合を含め）など、各段階でのセミナー開催が定期的にあれば参加したいです。
- 感染症について病気や治療だけでなく感染対策や薬物動態等幅広くお話を聞き学ぶことができました。途中で症例の話を聞けるのが面白かったです。ありがとうございました。
- 本日は開催していただきありがとうございました。またこのようなイベントがあれば参加したいです。
- 大変勉強になりました。ありがとうございました。

2025 年度会計報告書

（1）収入

項　目	金　額
自己資金	2,960,172 円
杏林製薬医学教育プロジェクト助成	5,000,000 円
合　計	7,960,172 円

（2）支出

項　目	金　額
運営費用（例：会場費、運営費等）	3,988,041 円
教育資材等作成費	347,400 円
講師費用（例：謝礼、交通費、宿泊費等）	1,461,031 円
その他費用	112,640 円
懇親会費用	2,051,060 円
合　計	7,960,172 円